

41 「知」の集積と活用によるイノベーションの創出

【令和5年度予算概算要求額 5,263 (3,968) 百万円】

<対策のポイント>

農林水産・食品分野におけるオープンイノベーションを促進するため、農林水産省が開設した『「知」の集積と活用の中』において、**様々な分野の多様な知識・技術等の連携**を図ります。

<事業目標>

- 基礎研究ステージ及び応用研究ステージにおける実施課題の70%以上において、革新的な技術成果や実用化につながる技術成果を創出
- 開発研究ステージにおける実施課題（海外で実証試験を実施するものを除く）の80%以上において、商品化・事業化が有望な研究成果を創出 等

<事業の内容>

1. 「知」の集積による産学連携推進

『「知」の集積と活用の中』における協議会の運営、研究開発プラットフォームから生み出された**研究成果の商品化・事業化、海外展開を促進するマッチングイベントの開催**、バイオエコミーの推進に資するプロデューサー人材への支援等、**イノベーションの創出に向けた取組**を支援します。

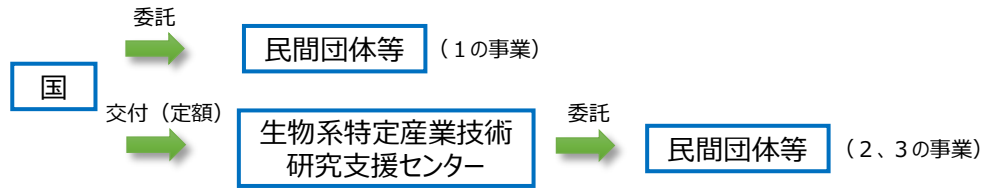
2. オープンイノベーション研究・実用化推進事業

国の重要政策の推進や現場課題の解決に資するイノベーションを創出し、社会実装を加速するため、**産学官が連携して取り組む基礎研究や実用化研究**を支援します。

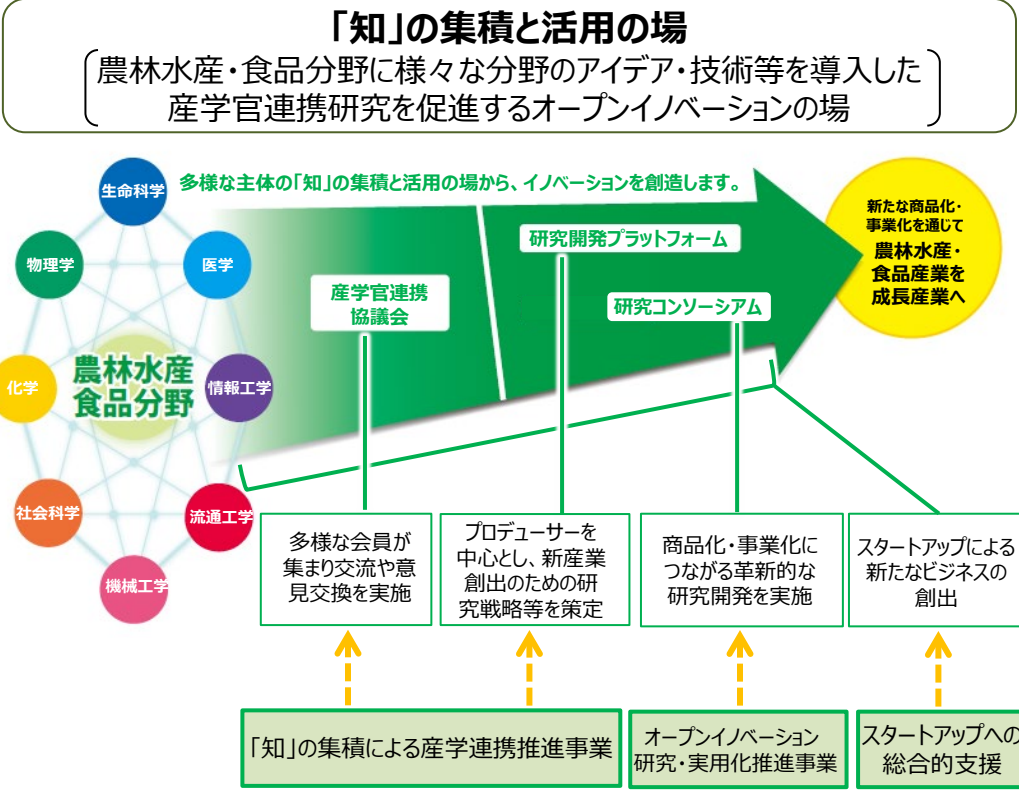
3. スタートアップへの総合的支援

新たな日本版SBIR制度を活用し、**サービス事業体の創出、新たな技術開発・事業化を担うスタートアップ**を切れ目なく支援します。また、若手研究者等による**「創発的研究」の取組**を支援します。加えて、スタートアップの初期需要創出のため、**テストマーケティング等**を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-3502-5530)